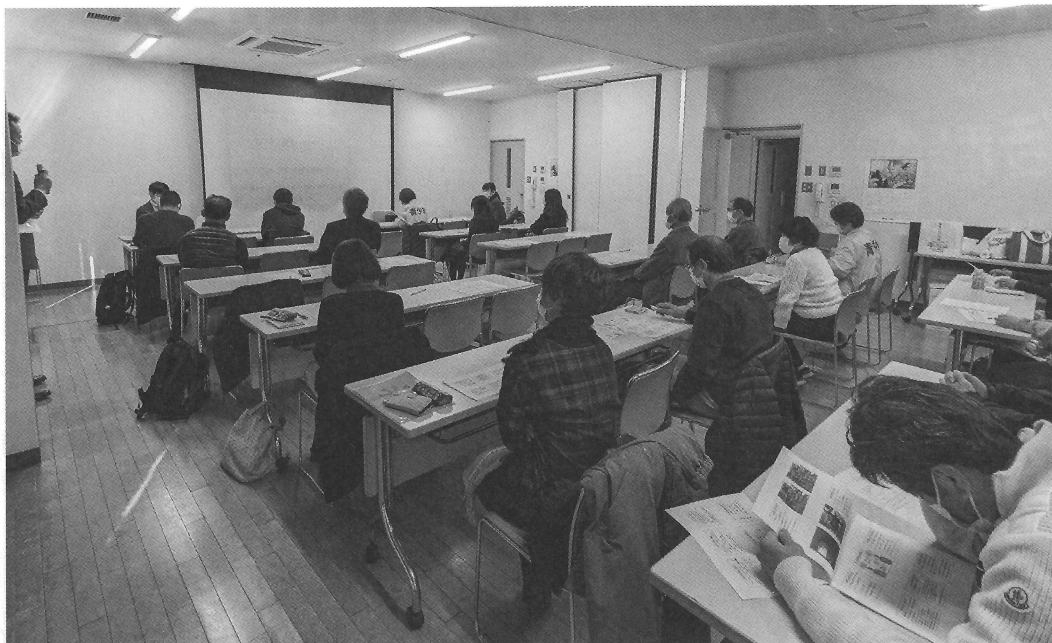




恩方地区 青少年対だより

青少年対策
恩方地区委員会
発行
令和5年3月15日

2023年2月4日

子育て講演会

橋詰 譲 先生

「いじめと向き合う」



2023年2月5日、恩方市民センター会議室にて、青少年対主催子育て講演会「いじめと向き合う」弁護士橋詰先生をお迎えし開催しました。

一昨年はオンライン開催、昨年は直前に中止になったため、今回は3年ぶりの上、初めての午前中開催になり、準備にバタバタとしましたが、無事終えることができました。残念ながら保護者の方の参加が少ない状況でしたが、各校の先生方やPTA役員、地域の方々が参加してくださいました。橋詰先生はいじめ問題に対して法律の面からアプローチしてくださいました。法律ではいじめを次のように解釈しています。

いじめ

第一段階…孤立化
第二段階…無力化
第三段階…透明化

いじめとはいじめられられている人の人権を侵害している人権侵害にあたります。人権とは個人が持つべき安心（安全）、自身、自由の3点が各々まられることをいいます。

ただ、いじめの第一段階では法律では裁くことが難しい、しかしそこで芽を摘むことがとても重要であると説明されました。

また、こどもたちはどんな大人を求めているかをPM理論で説明されました。Pは「パフォーマンス機能」目的達成、統率機能」、Mは「メンテナンス」集団維持、寄り添う機能」です。子供たちに対しては、P機能よりもM機能、つまり寄り添う力が大切であることが重要な点だと改めて確認することができました。

編集後記

コロナ禍への心配により思うような活動ができない時期が長く続いていましたが、今年に入り、「子育て講演会」「遊びの広場」を実施することができました。多くの人たちが集い、思いを共有できることは、とてもありがたいことなのだと実感しました。新年度もよりしくお願いいたします。

青少年対総務 K



	第一回	第二回	第三回 (予定)
恩一小	7月2日	11月5日	3月4日
恩二小	6月25日	12月10日	3月11日
恩方中	6月29日	11月18日	3月3日



年に3回、学校周辺の清掃活動を、小中学生と保護者の皆さん、先生方そして地域の方々と一緒に行っています。

以前に比べてゴミは少なくなっています。そのせいか子供たちは真剣にゴミを探し集めてくれます。素直な子供たちです。

その様子を見守りつつ、大人たちは近況や情報交換もしています。少しコロナ禍前に戻って来ました。

青少年育成指導会の活動

夏休み特別パトロール

7月29日
8月10日
8月19日
8月31日

計4回

夜間パトロールをしました。

健全育成キャンペーン
11月6日 中止

子どもたちから
寄せられた

健全育成標語

各校代表作品

◆ 恩方第一小学校

うんどうかい みんなのおうえん

うれしいな (二年)

心をこめて ありがとう

夢を追う 家族の応援 (二年)

がんばれる (三年)

やさしさは 友達つくる

大一步 (四年)

泣いてると なぐさめてくれる

親心 (五年)

友達と 笑顔で約束

「また明日」 (六年)

♣ 恩方第二小学校

ともだちとなかよくできて

こころ ぽかぽか (二年)

こまっている 人がいたら

たすけあう (二年)

たすけあい みんなでまもう

このちいさを (三年)

けんかして あやまれる君

かっこいい (四年)

自分より 相手の話を

聞く姿勢 (五年)

誰にでも 強みと弱みが

あるんだよ (六年)



あそびの 広場

あそびの広場8月中止、2月11日開催。
コロナの影響で8月は中止となりました
が2月は、おやつや飲み物の提供を控え
感染対策を実施して開催をしました。
地域の囲碁・将棋クラブの皆さんのご
協力のもと楽しい時間をすごしました。

地域ふれあいスポーツ大会 12月4日中止

12月4日に予定していた、地域ふれあいスポー
ツ大会は中止となりました。
コロナの感染が落ち着いてきた9月頃から、打
ち合わせを開始しました。
3年ぶりのため、運営側も学校の先生や
PTA、ボーイスカウト、タヤけスポーツクラブ
の方々など過去資料を片手に準備していまし
たが、11月の役員会にて、医療の逼迫、
子供たちが受験を控えている時期などもあり、
苦渋の判断をしました。
次回こそ、実施できればと思います。
皆様のご参加、お待ちしております！



2月11日(土)
8月は中止になりました。

令和5年度 恩方地区青少対健全育成標語

あいさつって してもされても いい気持ち

♡ 元木小学校

みんな いっしょに

あそぼうね (二年)

あいさつって してもされて

いい気持ち (三年)

友だちが わらうとわたしも

わらっちゃう (三年)

ありがとう そのひとことが

うれしいな (四年)

つらいとき がんばりすぎない

そうだしよう (五年)

あいさつは あいってつなぐ

みちしるべ (六年)

◆ 恩方中学校

澄んだ空 君の心も

澄んだ青 (二年)

辛いとき 抱え込むより

話そうよ (三年)

スマホより 親子の会話

増やそうよ (三年)



テーマ「子どもの成長を感じたとき」

四校の校長にお聞きしました



恩方中学校
校長 植田 恭正

日頃より、恩方中学校の生徒が地域で大変お世話になっております。新型コロナウイルスとインフルエンザの感染拡大が続く中、地域の皆様の御理解と御協力を頂きながら学校行事を行うことができております。感謝申し上げます。

学校生活の中で「子供の成長を感じた時」は、3年生が「面接指導で大人の世界に飛び込む」としている姿ではないでしょうか。入学式の時、大きな制服を纏い、大きな声で返事をしてくれた生徒が、3年生の進路指導の一環として行われる「管理職との面接指導」で礼儀正しく立ち居振る舞い・敬語を使い・自分の言葉で恩中の思い出を語り・自分の将来の夢を真剣に伝えてくれるその姿は、立派に成長した3年生の姿そのものです。面接を終え、校長室から退出する後ろ姿は大人の世界に飛び込むとして正に成長を感じ瞬間です。進路決定に向けて不安な日々を過ごす中での校長室の面接は「緊張」という二文字が重くのしかかっているはず。そのような状況でも自分を鼓舞し、頑張る姿を見ますと大変嬉しく思うとともに、義務教育の終了が近いことを感じるときでもあります。今後とも恩中生への御支援をよろしくお願いいたします。



恩方第一小学校
校長 池田 貴博

恩方第一小学校では、毎年3学期に縄跳びカードを配付し、各自のペースで縄跳び練習に取り組んでいます。休み時間も、熱心に縄跳びに取り組んでいる児童が見られます。繰り返し練習に取り組んでいる児童を見ると、ついこの間までおぼつかなかったり、できなかったりした技が、案外できるようになっているのが見え、こちらまでうれしくなります。

どんな練習をしたらよいのか考え、繰り返し練習することでできるようになる。できるようになるとさらに難しい跳び方に挑戦したくなる。これを繰り返していくことでどんどん成長していくのだと思います。これは縄跳びに限ったことではなく、成長していくための大切なステップではないでしょうか。考え、取り組み、結果を確かめ、再度考える。これの繰り返しで、いろいろな面で成長し、力をつけていくことができます。縄跳びのように結果が目に見えやすいものもありますし、そうでないものもあります。しかし、どんなものであっても、取り組みでいかなければ成長はありません。

私たち大人が適切に声をかけ、きっかけを作つてあげることで子供たちは成長していきます。成長のきっかけ作りを意識していきたいと思ひます。



恩方第二小学校
校長 有賀 康美

小学生の成長はとても大きいものがあります。低学年では、幼児期の特徴を残しながらも、「先生が『いけない』」と言うことは、してはならない」といったように、先生の言うことを守る中で、善悪についての理解と判断ができるようになります。また、言語能力や認識力も高まり、自然等への関心が増えます。9歳以降の小学校高学年の時期には、物事をある程度対象化して、対象との間に距離をおいた分析ができるようになり、知的な活動においてもより分化した追究が可能となります。また、自分のことも客観的に捉えられるようになります。身体も大きく成長し、自己肯定感をもち始めます。さらに集団の規則を理解して、集団活動に主体的に関与したり、遊びなどでは自分たちで決まりを作り、ルールを守ったりするようになります。入学から卒業までの6年間で体も大きく変わりますが、様々なところが本当に大きく変わります。1年間でもずいぶん変わります。

小学校では毎日の教室での授業はもちろん、休み時間の遊び、給食、掃除、異年齢活動、様々な行事、そして本校の特色でもある地域や自然を生かした豊かな体験活動の中で大きく成長します。そんな成長する子どもたちに感心すると同時に、間近でその成長を見られることに幸せを感じています。



元木小学校
校長 刀棚 俊明

学校では毎日何らかの子どもたちの成長があります。日々の授業で、一つ新しいことが分かった時、やろうとしたことができたときの一瞬の笑顔を見られたときは、とてもうれしくなります。また、休み時間やそうじ当番・縦割り班などの特別活動で、友達との関わりの中で、前より優しくできた・勝敗を素直に認めることができたなど、小さな成長の積み重ねがあります。運動会や学芸発表会などの大きな行事では、練習の過程も通して、大きな成長を見ることがあります。運動や表現・音楽等、得意なところで力を発揮し、さらに自信をつけることもあれば、苦手な人が継続的に努力して乗り越え自信をつけたり、また自分でも気付いていなかった才能に気付き、自信をつけたりするなど様々な児童が大きく成長するチャンスです。もちろん、毎回すべての行事で大きく成長するわけではなく、時には失敗してあまり成長できない時もあります。でも、失敗も次の成長の大事な糧となり、トライ＆エラーを繰り返し、成長していきます。我々教師にとって、子どもたちが成長したと感じて目を輝かせた瞬間を見るのが最大の喜びです。